

歩行者行動分析調査結果

平成 14 年度調査で課題の多く見られた滞留箇所において、利用行動の時間推移など詳細な把握を行った。平成 15 年度調査では西大台の利用行動調査を追加した。

<調査概要>

内容：下記の各調査地点における利用行動の定点観測を行い、30 分ごとに行動を記録した。

調査日概要：

8 月 16 日 (土) 調査地点：日出ヶ岳、尾鷲辻、牛石ヶ原、大蛇嵩、シオカラ谷、西大台

お盆休みにかかるピーク時の調査として設定したが、当日は早朝から小雨が降り続き、気温も低く肌寒い天候で、駐車場周辺で売店等に立寄るのみで諦めて帰る利用者も多く見られるなど、例年より散策利用者は少なかった。このため、ピーク時の悪天候日のデータとして分析する。

10 月 11 日 (土) 調査地点：日出ヶ原、尾鷲辻、牛石ヶ原、大蛇嵩

紅葉シーズンのピーク時の調査として設定したが、当日は一日中雨風が続き、じっとしていれば凍えるような寒さで、東大台、西大台ともに利用者は少なかった。このため、調査結果は、ピーク時の悪天候日のデータとして分析する。

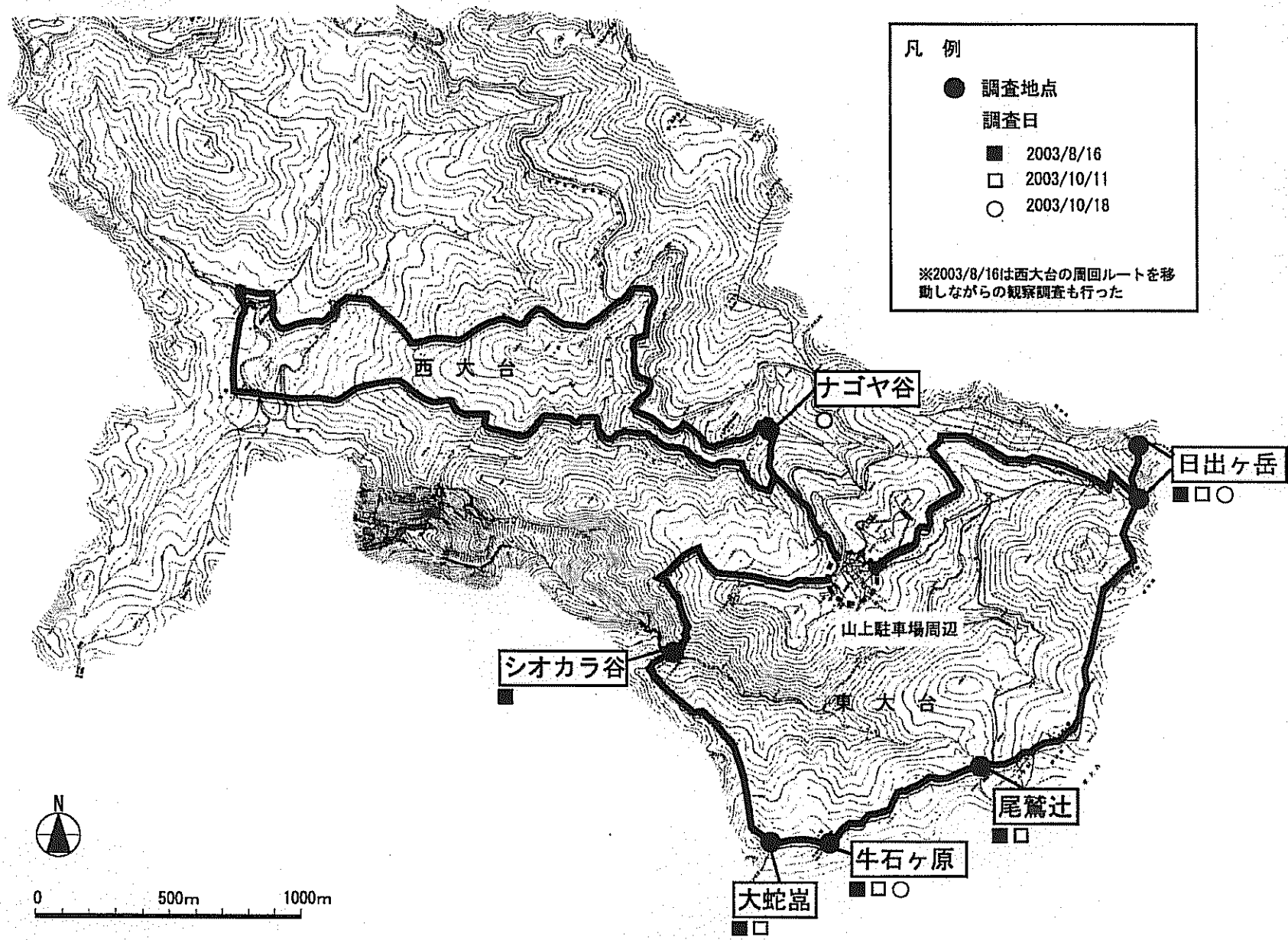
10 月 18 日 (土) 調査地点：日出ヶ岳、牛石ヶ原、ナゴヤ谷

紅葉シーズンのピーク時の調査として設定した。当日は午前中は時折霧が発生する肌寒い天気であったが、午後からは日が射す時間が多い雲混じりの晴天であった。時期的に紅葉の適期であったこと、また 1 週前の休日の天候が悪かったことから、人出はほぼ今秋のピークといえるものであったと考えられる。

<調査結果全体の概要>

- ・利用者の大半は東大台の日出ヶ岳、正木ヶ原、牛石ヶ原、大蛇嵩を周回利用していた。
- ・主要な滞留箇所では正午前後を中心に休憩、食事等の利用が増加。歩道周辺の倒木や丸太ベンチの利用率高く、座りやすい休憩場所へのニーズがうかがわれる。
- ・全体に天候が利用に大きく影響する。悪天候では歩かずに帰る人も多い。歩道外への逸脱、ペットの持ち込みなどは悪天候時には減少するが、コンロの使用は天候に関わらずみられた。
- ・平成 14 年の調査後にロープや制札が整備された箇所では歩道外への立ち入りの大幅な減少が観察されたが、利用ピーク時間帯を中心に一定の立ち入りが見られた。
- ・西大台は駐車場から展望台までを往復する利用パターンが多い。また、大台教会のみを利用する利用者や午後や悪天候時は様子見程度に歩いて戻ってくる利用者も多い。東大台に比べて利用者は少ないがバスツアーによる団体利用もある。利用者層は、東大台のようにハイヒールやスニーカーの利用者は見られないが、犬連れや歩道外への逸脱などもみられ、マナー面での差異は見られなかった。

歩行者行動分析調査地点

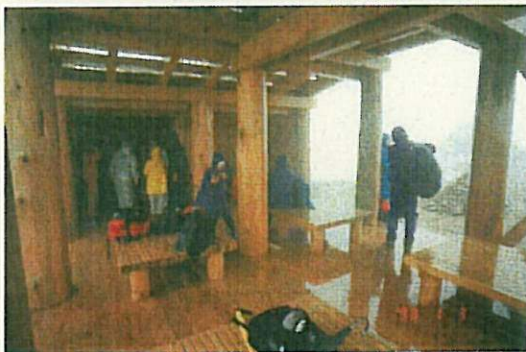


<各地点での調査結果概要>

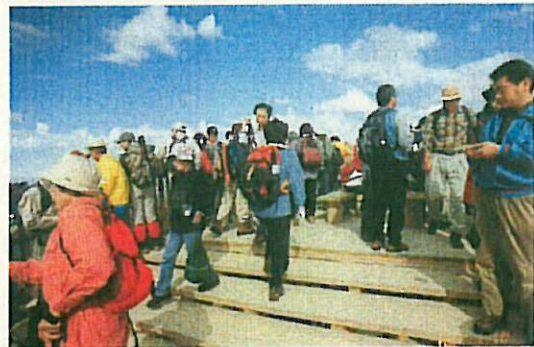
◆日出ヶ岳

(展望小屋、腰をかけることのできる丸太、ロープや立入禁止の制札が新しく整備されていた)

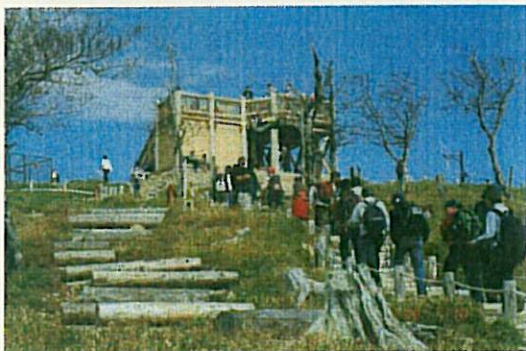
- ・晴天時(10月18日)は、午前10時半頃より急激に来訪者が増加し、14時頃までは30分あたり100~200名の入込みと退出がみられ、かなりの混雑状況が続いた。ピークは11時半~13時の間で山頂部分に100~150人の利用者が同時に滞留した。展望台には常に10~30人の利用がみられた。
- ・雨天時(10月11日)は展望小屋内でも風雨が吹き込むため、ほとんどの利用者は5~10分程度の短い休憩をとるのみであった。
- ・雨天時(8月16日)でもまばらではあるが、常に人が登ってきた。
- ・晴れている時は、丸太ベンチに座ったりコザを敷いたりして食事をとる人が多い。(8月16日、10月18日)
- ・コンロの使用が見られた。(10月11日)



雨天時(10月11日)の展望台の様子



晴天時(10月18日)の展望デッキの混雑



歩道、柵等の整備により歩道外への立ち入りは減少
(10月18日)

◆尾鷲辻（8月16日、10月11日）

- ・雨天時は、雨をしのぐ休憩場所として多くの人が東屋を利用。一時的にかなりの混雑が発生することがあった。（10月11日）
- ・午後になると帰る時間を考慮するためか、利用者が減少する傾向が見られた。（8月16日、10月11日）



雨天時（10月11日）の小屋内部の様子



雨天時（10月11日）の小屋の混雑

◆牛石ヶ原

- ・晴天時（10月18日）は10時30分から15時までの通行は述べ2,200人程度であった。尾鷲辻→大蛇ヶ原方面の通行のピークは1時～1時30分、大蛇ヶ原→尾鷲辻方面のピークは1時間遅れの2時～2時30分であった。ピーク時には80名程度の滞留があり、通行者が通りにくい時間帯も見られた。平成14年秋の調査時にみられたような、歩道外を歩く利用者やササ原に入って休憩するなど課題行動が比較的少なかったが理由については不明である。多くの利用者は神武天皇像前で一旦足を止め、説明版を読む、記念写真を撮る、同行者を待つ、などの行動をとっていた。休憩をとる場合は、石張り舗装の端部の段差が発生している箇所での休憩が多く、ロープの外で休憩を取るグループは少なかった。
- ・雨天時（8月16日、10月11日）は、多くの利用者が、神武天皇像の前で足を止めて鑑賞したり解説板を読んだりしたが、腰をおろして休憩する者は少ない。雨天時は問題行為はほとんど見られなかった。（8月16日、10月11日）



雨天時（10月11日）は立ち止まって休憩



晴天時（10月18日）の休憩

◆大蛇嶮分岐 (8月16日、10月11日)

- ・雨天時は通過者の1割程度が休憩を取る程度であった。(8月16日)
- ・多くの人が大蛇嶮へ向かったが、リピーターと思われるグループの中には、どうせ何も見えないからと、通過する人も見られた。(10月18日)



晴れ間には腰掛けて休憩する (10月11日)



雨天時 (10月11日) 立ち止まっての休憩

◆シオカラ谷 (8月16日のみ)

- ・雨天時であったが、利用者の半数ほどが川原に降り、水浴びや休憩、食事をする姿が見られる。
- ・来訪者・川原に降りる人はともに昼過ぎにピークとなった。



ピーク時の河原の様子 (8月16日)



水浴びを楽しむ子供たち (8月16日)

◆ナゴヤ谷 (10月18日のみ)

- ・駐車場⇒七ツ池へ通過する利用者は、10時がピークであった。昼は一旦利用者が減少したが、13時半頃になると逆に七ツ池⇒駐車場方向へ帰る利用者が増加し、14時半～15時半がピークとなった。



昼食休憩を取る団体 (10月18日)



紅葉シーズンでも全く人影のない時間帯も多い (10月18日)